【2024年９月 月間予定表 ―椚辻北校― 】 ◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆

９月の予定		
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	休校日
6	金	
7	土	「定期テスト攻略講座」（大宅中対象）
8	日	「定期テスト攻略講座』（大宅中対象）
9	月	↑ 実力テスト期間
10	火	｜
11	水	｜
12	木	｜ 休校日
13	金	↓
14	土	土曜特訓〈中３A 国語/B 社会〉
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	
19	木	休校日
20	金	
21	土	「定期テスト攻略講座」（山科中対象）
22	日	「定期テスト攻略講座」（山科中対象）
23	月	
24	火	↑ 第４回Ｖ模試（中３対象）
25	水	｜
26	木	｜ 休校日
27	金	｜
28	土	↓ 土曜特訓〈中３A 理科/B 国語〉
29	日	
30	月	

※諸事情により予定を一部変更する場合があります。

【7月度のMVP】

●中学３年生　R.N. さん

一学期の内申点が、前回より４アップ！

●中学３年生　R.H. さん

一学期の内申点で、自己ベストを更新！

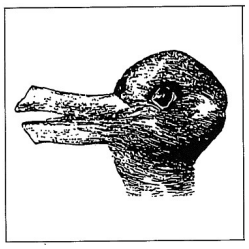
●中学１年生　S.M. さん

一学期の内申点が、平均オール４以上！

９月行事について

●土曜特訓　・・・受験生用の特別講座。入試に通用するテクニックを伝授します。

【 見えるもの 見えなくなるもの 】



保護者の皆様、いつもお世話になっております。

右の絵は見方によって、二通りのものに見えるだまし絵です。
だまし絵は中学校の教科書などにも載っていて、それほど珍しいものではないのですが、私はこの絵の下の説明書きを読んで、うなってしまいました。
そこには
「一つの絵柄を見ようとすると、もう一つの絵が消える」というようなことが書かれていました。
何が見えるかではなく､何が見えなくなるかという視点からの説明はとても新鮮でした。

一つのことに出会ったときに、ひとつの見方しかできないのが私たちです。
雨の日はキライ、年をとるのはイヤ…。
でも、別の見方もできるはずです。
「雨雨ふれふれ母さんが、蛇の目でお迎えうれしいな」という歌は、雨の日がスキになった子どもの歌。年をとるということは「さまざまな経験を経て、人生をより充実させることができる」ということ。
さて、先ほどのだまし絵ですが、
「左を向いているアヒルと右を向いているウサギ」です。
答えを聞いても、一つの絵しか見えない人は、気をつけたほうがいいかも（笑）

東京で三代続く傘職人さんのインタビューをテレビで見ていました。
「これからどんな仕事をしていきたいですか」という質問に対する職人さんの答えを聞いて、心がほのぼのとしました。
「私の傘を買ったお客さまが、雨の日が待ち遠しくなるような傘づくりをしていきたいのです」
私ならば、丈夫な傘、使いやすい傘…くらいしか思いつきません。
でも、職人さんは傘を使う私たちが、「早く雨が降らないかな。降ればあの傘がさせるのに」と思ってもらえるような傘を作りたいと言うのです。
自分の作ってきたものを使ってくれる人のことを三代にわたって考えてきたその言葉は、人へのあたたかい想いがあふれていました。

嫌なことでも興味がもてるように…。
私たちが教える勉強は、子どもたちにとっては嫌なものの代表格でしょう（悲）
だからこそ、せめて、チョーわかりやすく教えてあげたいですね。
この「チョー」という部分が大事なポイントなんです。
「フツー」にわかりやすいではダメ。
子どもたちに衝撃を与えるくらいのレベルじゃないと、いまの子どもたちはリスペクトしてくれません。
子どもたちからの信頼なくして教育なんて成り立ちませんから。
日々修行です。いつか最高の講義ができる塾講師を目指して…。

嫌なこと、苦しいことの究極といえば「死」。
不幸にして子どもを亡くした両親に、こんな質問をしてみたそうです。
「死ぬのは恐いですか？」
質問に答えた全員がこう言ったそうです。
「死ぬのは恐くありません」
その理由はこうです。
「だって、その時、やっとあの子にもう一度、会えるような気がするんです。
その時まで、恥ずかしくない生き方をしようと思っています」

ヘレン・ケラーは死について、こんな言葉を残しました。
「死ぬことは、ひとつの部屋から次の部屋へ入っていくのと同じなのよ。
でも、私にとっては大きな違いがあるの。だって次の部屋では目が見えるんですもの」

あなたは答えの出ない問いに悩んでいませんか？
人生を変えるコツ。それは見方を変えてみることにありそうです。

塾長　山田　大介